広報 肱川

## 人口と世帯

| | 昭和41年（5月末） | 昭和46年（5月末） | 昭和51年（5月末） |
|---|---|---|---|
| 人口 男 | 2,773人 | 2,237人 | 2,028人 |
| 人口 女 | 2,923人 | 2,272人 | 2,107人 |
| 人口 計 | 5,696人 | 4,509人 | 4,135人 |
| 世帯数 | 1,251世帯 | 1,166世帯 | 1,103世帯 |

転入した人　4人
転出した人　13人

## お誕生おめでとう

森　浜田静夫さん
大屋敷　二女幸枝さん
苑野尾　長女井上秋雄さん
苑野尾　冨永伊佐夫さん
協生　北久男さん
萩野尾　二女百合子さん
大和　長畦田芳範さん
下鹿野川　金井保恵さん
肱野尾　長男友樹さん
道野尾　和気治夫さん
中野尾　長岡光良樹さん
大居谷敷　岩野初義さん
中道野生尾　西浦家楠さん
汗生宮　岡田清光さん
岡利八さん　68才　0才
0才　727才
380才

## おくやみ申し上げます

# はじめて見る肱川町……

## ―一日町政教室―

肱川町に住んでいても、自分の地区以外は、なかなか見る機会がなく、よく知らないのがお互いの実状です。

町では、住民の方々を対象に町全域の主な施設や事業、地区の状況を見てもらうとこころみたのが"一日町政教室"はじめました。

第一回目は去る五月二十七日、宇和川地区の方々を対象に実施しました。

朝八時半、赤岩をマイクロバスで出発し、町長が主な説明にあたりました。小藪から大谷へ越え、昭和三十年に見吹村から合併した森部落を通り、鹿野川自然公園から予子林、中津を経て岳山近くで弁当を開き、岩谷地区や河辺村の遠望を楽しみました。

午後は、河辺村の植松へ下り、岩谷から苑野尾へ、さらにババン峠を経て中居谷へ下り帰途につきました。

午後三時、公民館に帰って懇談会です。

14ヘクタールに及ぶ2次農耕事業瓜畦の桑園で

懇談会では、各地区の開発の様子が一番の話題となり中でも大谷の大規模酪農名荷谷瓜畦の一四〇〇の桑園や各地区の道路網の発達には、特に驚きが大きかったようです。

また町に対し、種々の意見や要望が出されましたが、これらの事柄は、今後の施策に生かされます。

この町政教室は、八月までに順次各地区単位に実施されます。

## あたらしい庁舎

### 六月四日に移転

昨年の十月工事に着手した新しい役場庁舎は、去る五月三十一日に計画どうり完成し、落成式は六月一日町内の役職、代表の方々をお招きして行なわれました。

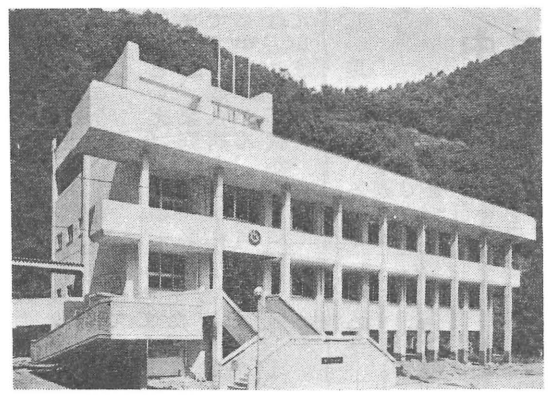
新しい庁舎の工事や設備の概要は、次のとおりです。

**工事の概要**

敷地面積　1,320㎡
建築面積　1,477㎡
　1階　480㎡
　2階　467㎡
　3階　479㎡
　塔屋　51㎡
建物の構造　鉄筋コンクリート造3階建
建物の高さ　地表より12.45m
　塔屋まで15.95m
工期　着工　昭和50年10月1日
　　落成　昭和51年5月31日
事業費　174,451,000円
　建築工事費　154,500,000円
　附帯工事費　8,906,000円
　備品費　6,000,000円
　設計管理費　5,045,000円

**設備の概要**

庁内外放送設備　一式
電話　局線4回線
　庁内線30台
冷暖房設備　大1　小1



新しい庁舎外観

### ●庁舎の案内

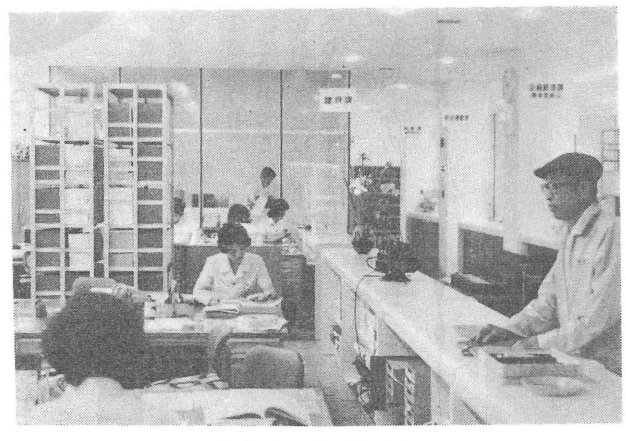
（一階）一階は倉庫が主ですが、この他保健室、複写室、物品室があり、約半分は駐車場になっておりました。）なお二階は、公民館とローカでつながっております。

（三階）三階は議場の他、会議室が主ですが、事務室として議会事務局、教育委員会事務局、国土調査課となっております。

（建物案内図は別に配布しますのでご利用下さい。）

### ●足の不自由な方へ

お年寄りや、足の下自由な方で階段を上りにくい方は、階段横の公民館側にゆるい匂配の通路があります。



事務室，受付附近

### ●夜間の受付

夜間などで入口が閉っている場合は、一階の横、公民館側の入口にある箱の電話で二九を廻していただくと宿直室につながります。

### ●駐車場

役場に用事のある方は、駐車場をご利用下さい。

### ●電話

用件によって次の番号にかけられると早くつながります。

呼んだ番号が話し中のときは自動的に他の番号につながりますし、また他の番号にかけられても、職員が希望されるところへ切替えます。

| | |
|---|---|
| 2311 | 町長，助役，収入役，総務課，企画経済課，町民運動室，国土調査課，議会事務局 |
| 2312 | 町民課 |
| 2313 | 建設課 |
| 2314 | 教育委員会 |
| 7646 | （地集変更）町民課 |
| 7642 | （地集）教育委員会 |
| 119 | 火事通報（総務課） |

## 議員さん出番です

### 山口清政さん

### きめ細かい町政で「肱川のよさ」を

山口議員さん出番です。山口さんは、両親が健在で境遇に恵まれ、若い頃から政治運動を始め昭和三十年に、社会党に入党された。

昭和四十二年、十二年間勤めた農協職員を辞めて、町議会議員に初当選以来、連続三期目で、現在産業委員長である。

（まず一言）

政治を行うものは、政治姿勢を正すべきであろう。たとえば、他の役職を兼務していたのでは、その立場があって、正しい政治活動はできないと思う。

（きめ細かい町政を）

町政は、国や県と違って、きめ細かい政治が必要だ。福祉面でも、産業面でも「肱川のよさ」をつくらねばならない。たとえば、住民の健康管理などは、はなばなしくはないが、ぢみちな行政を住民は求めていると思う。

（議員として）議員はよく勉強するといわれるが町政の勉強も結構だが、独自に、住民サイドに立っての勉強が大切だと思う。

とかく、農家だけのことを考える向きがある。もちろん当町にとって、農林業は大切だが、町民には、商売人もおれば、サラリーマンもいる。あらゆる角度から考えなければならないと思う。ときびしい。

（選挙が汚ない。）

いまの選挙は汚ない。金がかかる選挙が当り前となっている。正しい選挙は、正しい政治の基本であり、民主々義の基本でもある。選挙に出る者も、投票する人も、双方が考えなければ、正しい政治は期待できない。と強調され、正義感が強い。

（信条は、）

「少数意見でも正しい場合がある」と信じ、町政に対して、是々非々として貫ぬいている。

また、当初議員に出たとき、勝負ごとは、競輪競馬、パチンコなど一切しないことを心に誓っている。

縫製業、家族は、いまご両親と奥さん、長男（高校生）の五人家族、五十三才広常部落

## 集音マイク

○「山にいても畑にいても町内の出来ごとや農作業メモがきけるし、こりゃあー良いものができたわい」（農事放送開始五・一〇）

○「九州地方の風物や人情にふれ、見聞を広めよう」と思い出の修学旅行。さてオラが町との違いを、子供たちがどのように感じて帰ったことか（町内全小学校修学旅行五・一三～一六）

○町内各種団体のあとをつぐ者が、親ぼくをはかろうとソフトボール大会実施、しかし、ほんとうの親ぼくは大会のあとではかられたのでは、（五・一六、町民運動場で）

○三人の検査官による農林関係会計検査、途中はまことに厳しく。しかし、午後六時検査官の顔も和んで無事終了。（五・一九）

○やはり自分の体は気になるとみえて、人より先にやりたがる。

四十二人中、高血圧者は三人、正常な人が多く、まずは安心（五・二二大谷老友会血圧測定）

○町外を知るのも良いことだが、住民にまず町内の各所を知ってもらおうと、主な施設や事業を視察する町政教室実施、あと懇談会では、意見百出、好評（五・二七第一回宇和川地区）

○ボートシーズン幕あけ、男子一三クルー、女子六クルー参加し、オアズマン精神にのっとり、正々堂々と（インターハイ県予選五・二九～三〇鹿野川湖で）

○町外の方々からはともかくとして、一住民から「新庁舎の落成を、心からお祝い申し上げます」との祝電をいただいた。ほんとうによい中味にならなくては職員一同感激（六・一庁舎落成式）

○「枝ぶりは悪いが……」とワレナベの鉢に育てたツツジを新庁舎に寄贈された方も。

さっそく、ポーチに飾らせていただいた。

きれいな山河　①川をきれいに　②家のまわりをきれいに　③安全な生活……「大切に」運動七月の目標

## お知らせ

**○胃の集団検診**

とき　七月六日から九日まで（四日間）
　九月七日から十日まで（四日間）
受付　七時から十時まで
ところ　肱川町公民館
料金　六〇〇円

申込者には、日時を指定して通知します。

なお、人員に余裕がありますので、希望者は、町民課まで申込んで下さい。

厚生農協連が行う成人病検診（胃検診を含む）は、十二月十日一日限りであり人員は一〇〇人程度に制限される見込みです。

**○妊娠健康相談**

とき　七月九日
　十三時―十五時
ところ　肱川町公民館

**○乳児健康相談**

とき　七月十二日
　十三時―十五時
ところ　肱川町公民館

**○不燃物収集**

収集日　七月十四日
収集地区　鹿野川地区、大谷地区

前日中に所定の場所まで出して下さい。

**○狩猟者講習会**

昭和五十一年度狩猟者講習会が、次により実施されますので希望者は受講してください。

（経験者）
・とき　七月九日　午前九時より
・ところ　大洲市民会館
・提出するもの
1、受講申込書
2、写真（六カ月以内、正面上半身、無帽、ライカ版）一枚
3、手数料　千円（県収入証紙）
4、提出先県大洲林業課
5、申込期限、開催日前五日

（初心者）
・とき　七月十三日、午前九時より
・ところ　大洲市民会館

（実技）七月十四日、午前九時より
肱川五郎大橋下
・提出するもの
経験者に準ずる。
手数料
甲種　千五百円
乙、丙種　二千円

申込書用紙は肱川猟友会事務局、山内壮亮氏にあります。詳しくは事務局へお問い合せください。

電話、肱川局二三五二

**○税務大学校学生（税務職員）募集**

**一、受験資格**

昭和三十一年四月二日から昭和三十四年四月一日までに生まれた男子の方で、高校卒業程度

**二、申込書受付**

昭和五十一年七月十二日（月）から昭和五十一年七月二十一日（水）まで。

その他詳しいことは、人事院四国事務局、高松国税局、または大洲税務署へお問い合せください。

**○河川愛護デー**は、七月二十五日（日）です。夏休みの計画には、ご配慮の上ご協力下さい。

## 無料の健康診断実施
### ―誕生日検診で―

町では、県の指定を受けて「誕生日検診」を行います。

「誕生日検診」とは、今年度中に四〇才、四五才、五五才の誕生日を迎える方々に、無料で健康診断を受けていただこうというものです。

四〇才といえば、職場では働き盛り、家庭では一家の柱です。成人病といわれる脳卒中や、がん、心臓病などは、この年代から急に増えています。

このため、いま元気だと思っている人にも、内科診察、血圧測定、尿検査、心電図検査を行うものです。

該当者には、順次、「無料受診票」を送付しますから、指定医療機関で診断を受けて、自分の健康をたしかめておきましょう。

また、今年四〇才になられる方には、健康手帳を交付しますから、各種検診結果を記録しておきましょう。

## 花いっぱいコンクール
### 〆切りは7月中

美しい環境をつくることと、家庭や隣り近所で共通の話題をつくるため、毎年花いっぱいコンクールを実施しておりますが、今年は家庭を対象に行いますので多数応募下さい。

入賞者には賞品・賞状を贈ることにしております。

○申込先――各部落長（または町民運動室）

○〆切り――七月三十一日

○申込み――電話でもよい

## 〃小さな構造改善〃事業の申込み

肱川町小規模基盤整備事業については、五月号にお知らせしたとおりですが、現在、その申込みを順次行っております。

ご希望の人は、申込用紙が企画経済課にありますのでご連絡の上、申し込んで下さい。申し込み方法は簡単です。（企画経済課）

## わが部落

### 〃白石を語る会〃楽しく

当部落は、鹿野川から国鉄バスで三十分、大谷地区の奥の端の集落、県道の開通で肱川町の西の玄関とも言えよう。

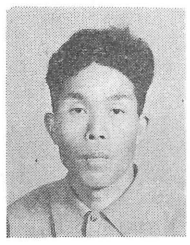
戸数二十三戸全戸が農業、幹線が部落の中央を谷間に沿って走り、これを横断する町農道があって各戸にも車の乗入れが出来る。

地形的に恵まれず急傾斜な田畑段々の耕作地です。最近しいたけ栽培が伸びてきたが、栗、たばこ、米酪農、養豚といったところ。

石油ショックを境とする経済の変化に対応して農林業への意欲が自主的に高まりつつある。今、当部落は森林総合利用促進事業で御在所山に町が事業主体となり当地域に適合した諸施設を造り森林経営とともに住民の社会的経済的地位の向上を図る方針で、総合案内所、駐車場、花木園、キャンプ場、バンガローなどをつくり、緑に恵まれた自然環境で町民のいこいと、レクリエーションの場となるのも間近かでしょう。

石灰岩が多く陥没したところも四、五箇所あり鐘乳洞の試掘が始って期待は大きい。

麓は澄みきった湧水が豊富で昭和十九年天皇陛下への献米が作られ知事さん始め大勢の人で地区を賑わした。



久保正幸さん

献米は粒選にされたといわれ現地には記念碑が立てられています。

今はマス養殖場が出来、釣り堀もあって昨年は三千人を数えた。

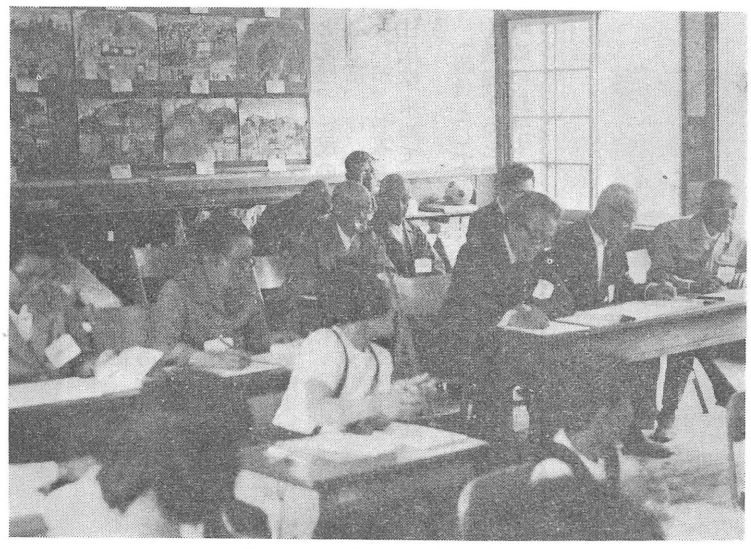
老人、子供、婦人会は花だんづくりや、施設の掃除など自発的に協力され、人情愛が偲ばれる。

グループの一つに「白石を語る会」がって、働く者の祝日五月一日には、部落全体が集って言いたいことをいう。

話の最後はやはり部落の開発、整備問題に話がすすんで夜の更けるのも忘れる。

## しわのよった小学生
### 老人クラブの一日小学生

老人とこどもの、共同生活を通じて、心のふれ合い成と老人の役割を相互に理解し、家庭の健全化、家庭の話し合い、いたわりなど豊かな家庭づくりのありかを求め、こどもの健全な育たを考えようと五月二十五日、小藪老人クラブ会員十五名が中野小学校四年学級へ、一日入学して一緒に勉強しました。



昔を思い出しての勉強風景

大きい名札をつけて、音楽朝礼から始まり、学級会算数、図画を勉強し、給食も一緒にしました。

特に、意見の交換会では昔の洋服の問題、遊び、先生、学校のようすなど、するどい質問に、老人会側も返答にひと苦労でした。

算数では、昔の計算のし方と今の計算のし方の違いにとまどいながらも、答は同じだということに、気づき「なるほど」と感心しました。

今回の老人一日小学生は「大切に」運動の五月目標「明るい家庭」の行事と老人クラブの一日研修会を兼ねて行なわれましたが、町内の各老人クラブも、学校の協力を得ながら、随時一日入学をしています。

少し、とまどいながらも忘れかけていた鉛筆をにぎり、計算をして、無事下校するとき、孫達の書いてくれた、クロッキーの似顔絵を一枚ずついただき、いい記念品ができたと、よろこんでいました。

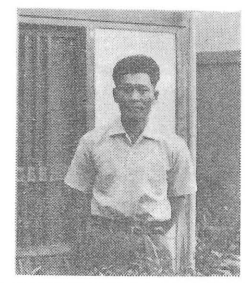
## インタビュー
### 一声千両
# 吟は生活のささえ
### 中塚　忠さん

梅雨の中休みであろうか、久しぶりに初夏の太陽がまぶしい昼さがり、たばこ畑で、葉たばこの管理に忙しい中塚さんを訪ねました。

たばこは、六〇〃耕作しているといわれる中塚さん。手少なでこれから八月上旬まで、たばこ相手の苦闘が始まる、たばこ作りも今は大分省力化されたとはいえ、大変な重労働、乾燥が始まると約二か月は睡眠もろくにとれない。

そんな繁忙の中で、「大声を発して、すべてを忘れる瞬間を持つことは、よろこびであり幸せだ」といわれる。

大谷の地に、今の吟詠会が発足したのは、昭和四十年九月というから、現在十年八か月の歴史を刻んだところ。



結成された当時は、会員も二十三名いたそうだが、多くの人達が途中で脱落、現在残っているのは九名。しかし、その九名は、いづれも高段者ぞろいである。

勿論、中塚さんもその一人。吟歴十年八か月現在は大洲吟詠会教師として、後進の指導に当っておられる。

「へたながら、好きで始めた吟の道ですが、歩めば歩むほど山が高くて登り切れません」と謙そんされる。「吟は、品位をもって生命とする。そして、健康的にも非常によい」といわれる中塚さん。

「吟を始めて、グループ活動の場ができ、仲間意識が育ち、和が広がっていく。それと、先人の残した詩を味うことによって、その人達の物の見方や考え方、そして生活がしのばれる。歴史の勉強が出来ることはありがたい」

肱川の吟詠会も、今四支部七〇余名の人達が、先人の魂にふれ、自己をみつめていこうと毎日どこかで頑張っていますが、中塚さんは、このように一人でも多くの吟友が出来ることが一番嬉しいといわれる。

吟を始めて一番印象に残っているのは、「町制施行三十周年記念式典で、短歌を詠じさせてもらったこと。光栄です」そして、「現代が、極度に合理化された時代であるだけに、不毛になりがちな心の中に、豊かなうるおいを持ちたい」と結ばれた。

温和な人柄の中にさびしさの光る中塚さん、ますますのご活躍を祈ります。

## 一口医学
### 胃腸に関係ない吐き気

吐き気というと、まず胃腸が悪いと考えますが、胃腸に関係のない吐き気もたくさんあります。

乗りもの酔い、つわりなどのときの吐き気はよく知られていますが、見落されがちなのが目の病気のとき。とくに緑内障では、吐き気と頭痛だけが初発症状の場合があり、目の症状がないので、内科でも診断がつきかねていると、急に目が見えなくなることがあります。

だから注意しましょう。

脳出血、脳腫瘍、脳炎などでは、脳圧が高まるため吐き気がありますが、脳の病気の際には、ほかに重い症状がいろいろ現れるので吐き気は軽く見られがちです。

頭を打ったときなど、吐き気がある場合は軽いと思っても、必ず医師にみてもらうべきです。

いろいろな検査をしても、病気が発見されないのに、吐き気が続くのは神経性のものと考えられます。

精神安定剤でよくなることもありますから医師に相談をしてみることです。

**七月一日は国民安全の日です。事故はちよっとした心のすきまにおこります。お互いに注意を。**